地域活性化に向けキャッシュレス推進

—寝屋川市—

　スマホにお店のバーコードをかざすだけで支払いは終了。最近はコンビニだけでなくスマホ決済ができるお店が増えてきた。財布から小銭を出すわずらわしさから解放されるとあって、若者先行で、スマホ決済の利用率は高かったが、インバウンドの影響や、国のキャッシュレス推進提唱もあって、○○ペイの種類も増え、最近は利用者の層も拡大傾向にある。
　こうした現状から地域経済活性化を目指して、6月6日、枚方市、北大阪商工会議所、枚方信用金庫と、スマホ決済アプリの株式会社Origamiの4者が連連携協定を締結した。

右から桑原Origami社長、吉野枚方信用金庫理事長、伏見枚方市長、谷本北大阪商工会議所理事

　市は今年1月から、ひらかたポイント（通称ひらポ）カードを開始して地域店舗や市民へのサービスを行っている。カードには、健康・長寿・子育てなどで市所定の事業に参加した市民や在勤、在住の人にはポイントが入り、市内のポイントサービス協力店舗で利用できる。北大阪商工会議所はこのひらポ協力店舗の普及・拡大の役割を担い、市内中小企業への事業活動の継続・発展を支援している。枚方信用金庫は、キャッシュレスビジョンを踏まえて、消費税増税やインバウンド対策を図るためにOrigami Payを市内各店舗への導入を進めている。これら3者の動きに合わせてOrigami Payが加わることによって、枚方市内でのキャッシュレス推進が地域活性化を促進していく。
　今後は、スマホ決済がどこまで地域に浸透するかが課題と言えよう。